

授 業 科目名	【 G 】	社会科・公民科指導法Ⅰ	区 分		開講年次	【 G 】 2	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	社会科・公民科指導法入門				【 H 】 2		【 H 】 2
科目区分	教科及び教科の指導法に関する科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独	【 G 】 教員の免許状取得のための必修科目（中一種免社会）（高一種免公民）						
		【 H 】 教員の免許状取得のための必修科目（中一種免社会）（高一種免公民）						
施行規則に定める科目区分又は事項等		各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）						
サブ タイトル	社会科を扱う授業者として、大切にしなければならなもの					担当者	後藤 雅彦	
授業概要	概要	【実務（中学校教諭）経験を活かした授業】 中学校における教育経験をもとに、学校現場で求められる基礎的な実践的指導力の育成を図る。 【概要】 学習内容を知るために、分担して模擬授業（ミニ講義形式）で全体内容を掴んでいく。合わせて、各自が「教える」ことで、このために「準備しなければならない」授業者としての在り方も、社会科教師として再考のきっかけとする。一連の社会科授業者の疑似体験を通し、「社会科は児童生徒にとってどんな科目であるべきなのか」そうした科目を将来にわたって職業として扱おうとする自らの進路選択について、絶えず自問自答していく。						
	到達目標	○中学校の公民的分野を中・高校の「基本事項」と位置付け、この学習内容を模擬授業で押さえ、全体を理解することができる。 ○互いに模擬授業で「教え合う」ことで、これまでの社会科授業の「受け手」から、自らに何が求められるのか考え始めることができる。						
履修条件	2024年度以降入学者以降は「社会科・公民科指導法入門」。2023年度以前入学者は「社会科・公民科指導法Ⅰ」の名称となる。 「教育原理」「教職論」を履修済み、もしくは本年度に履修予定の者。							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【○】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【○】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP（ディプロマ・ポリシー）①		－ （当てはまらない）					
	DP（ディプロマ・ポリシー）②		－ （当てはまらない）					
	DP（ディプロマ・ポリシー）③		◎ （よく当てはまる）					
	DP（ディプロマ・ポリシー）④		－ （当てはまらない）					
他科目との 関連性	「社会科指導法Ⅰ（2023年度生までは社会科・公民科指導法Ⅲ）」（2年後期） 「社会科指導法Ⅱ（2023年度生までは社会科・公民科指導法Ⅱ）」（3年前期） 「公民科指導法（2023年度生までは社会科・公民科指導法Ⅳ）」（3年後期）							
教科書	『新しい社会 公民 [令和3年度]』東京書籍（中学校社会科用 文部科学省検定済教科書）※中古本でも可							
参考書	文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』、文部科学省『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 公民編』							
評価方法	授業や演習への参加態度(30%)、課題(模擬授業含む)への取組内容(30%)、資料提出(40%)を総合して評価する。							
フィードバック 方法	毎時間の「復習シート」、課題演習(模擬授業含む)へのコメント							
評価基準	授業内容について、よく理解しており、応用力もある者には、その程度に応じて「S」または「A」とする。さらに授業内容の理解の程度に応じて、概ね理解しているを「B」、最低限の基礎力を備えているを「C」とし、以上「S」から「C」までを「合格」とする。 授業内容について、基礎力が不足しているを「D」、基礎力が著しく不足しているを「E」とし、「D」「E」を「不合格」とする。 なお、欠席超過や試験欠席等は「F」とし、「評価不能」とする。							

授 業	【 G 】	社会科・公民科指導法 I	区	分	開講年次	【 G 】 2	単位数	【 G 】 2
科目名	【 H 】	社会科・公民科指導法入門				【 H 】 2		【 H 】 2
授業回数	授業内容							
1	イントロダクションー社会科とはどんな教科だったのかー							
	予 習： 90分を目途に、「社会科とはどんな教科」だったのかを振り返る。				復 習： 90分を目途に、「どんな社会科」授業をやりたいのか練る。			
2	イントロダクションーやりたい社会科授業とはー							
	予 習： 90分を目途に、やりたい授業像の発表準備をする。				復 習： 90分を目途に、社会科を仕事として扱う意味を再考する。			
3	社会科の歴史ー社会科の誕生ー							
	予 習： 90分を目途に、社会科創設の歴史を調べる。				復 習： 90分を目途に、社会科の歴史を整理する。			
4	社会科の歴史ー学習指導要領の変遷と今日ー							
	予 習： 90分を目途に、教科・社会科の歴史を整理する。				復 習： 90分を目途に、求められる社会科像を整理する。			
5	社会科の内容構成ー小・中・高校の学習内容を知るー							
	予 習： 90分を目途に、小学校で受けた社会科の一つを紹介準備する。				復 習： 90分を目途に、分担した学習内容の教材研究をする。			
6	社会科の学習内容ー模擬授業の準備① 単元の選定ー							
	予 習： 90分を目途に、分担した学習内容の教材研究をする。				復 習： 90分を目途に、分担した学習内容の教材研究をする。			
7	社会科の学習内容ー模擬授業の準備② 学習内容の研究ー							
	予 習： 90分を目途に、分担した学習内容の教材研究をする。				復 習： 90分を目途に、分担した学習内容の教材研究をする。			
8	社会科の学習内容ー模擬授業の準備③ 学習内容の整頓ー							
	予 習： 90分を目途に、分担した学習内容の教材研究をする。				復 習： 90分を目途に、分担した学習内容の教材研究をする。			
9	社会科の学習内容ー模擬授業の準備④ 板書計画の完成ー							
	予 習： 90分を目途に、分担した学習内容の教材研究をする。				復 習： 90分を目途に、分担した学習内容の教材研究をする。			
10	社会科の学習内容ー「現代社会と私たち」ー							
	予 習： 90分を目途に、分担した学習内容の模擬授業を準備をする。				復 習： 90分を目途に、学習内容の資料提出できるようにする。			
11	社会科の学習内容ー「個人の尊重と日本国憲法」ー							
	予 習： 90分を目途に、分担した学習内容の模擬授業を準備をする。				復 習： 90分を目途に、学習内容の資料提出できるようにする。			
12	社会科の学習内容ー「現代の民主政治と社会」ー							
	予 習： 90分を目途に、分担した学習内容の模擬授業を準備をする。				復 習： 90分を目途に、学習内容の資料提出できるようにする。			
13	社会科の学習内容ー「私たちの暮らしと経済」ー							
	予 習： 90分を目途に、分担した学習内容の模擬授業を準備をする。				復 習： 90分を目途に、学習内容の資料提出できるようにする。			
14	社会科の学習内容ー「地球社会と私たち」ー							
	予 習： 90分を目途に、分担した学習内容の模擬授業を準備をする。				復 習： 90分を目途に、学習内容の資料提出できるようにする。			
15	まとめー「教え合って」感じたこと、考えたことー							
	予 習： 90分を目途に、授業者としての感想を整理する。				復 習： 90分を目途に、社会科を仕事として扱う意味をまとめる。			
その他	全体履修人数に応じ模擬授業の時間を確保したいため、必要に応じ多少の内容修正をする場合がある。また、常にポートフォリオ形式で授業資料等を分類整理する。							